

## 14. アユ資源回復対策事業

倉長亮二

### 目的

近年、県内の河川では極端なアユ不漁が発生している。このため、県は平成17～18年度にアユ資源回復緊急対策事業を実施し、アユの不漁原因の主因が解明されるとともにアユ資源回復プランを策定した。本事業では上記事業の成果を受け、資源回復プランの検証により、アユ不漁対策を実効あるものとする。

### 方法

#### 遡上調査

天神川下流域の天神森堰堤において、概ね9時から18時まで1時間おきに5分間に魚道を遡上するアユの尾数を目視により計測した。

#### 流下仔魚調査

天神川下流域の天神森堰堤左岸において、概ね16時から23時まで、1時間間隔でプランクトンネット（ノルパック）を1分間浸漬し、ネット内に入網する尾数を計測した。

#### 標識放流調査

天神川中流域の郡山堰堤下流において脂鱗を切除したアユ13,201尾を放流し、移動状況を把握した。

#### 基礎生態調査

の遡上調査時に得られた個体の日齢を計測し、2004年以降のふ化日別採捕尾数を比較した。

### 結果

#### 遡上調査

今年度は4月18日から5月30日にかけて8回の調査を行い、2006年以降との比較を図1に示した。2009年の遡上量は2008年より少ないものの、2007年、2006年並みであった。

#### 流下仔魚調査

今年度は10月23日から11月20日にかけて5回の調査を行い、2007年以降との比較を図2に示した。1網当たり入網尾数はほぼ前年並みであった。しかし、今年度は流下のピークに当たる11月上旬は大雨による増水に見舞われており、影響が懸念される。

#### 標識放流調査

本年は4月26日に郡山堰堤下流で放流し、採捕結果は図3に示した。放流後の5月22日に2尾、6月19日に3尾の採捕があったが、いずれも堰堤下流であり、上流へ遡上した個体は見られなかった。また、10月5日には放流地点下流の小鴨川三明寺付近で1尾採捕された。これは、放流直後の大雨による増水のため、放流種苗が一旦下流側へ流されたことによるものと思われる。

#### 基礎生態調査

2008年に生まれたアユのふ化日別採捕尾数は11月中旬にピークがあり、極端にふ化日の遅い2007年よりは早い、2004年から2006年と比較すると、やや遅いふ化日となっていた（図4）。

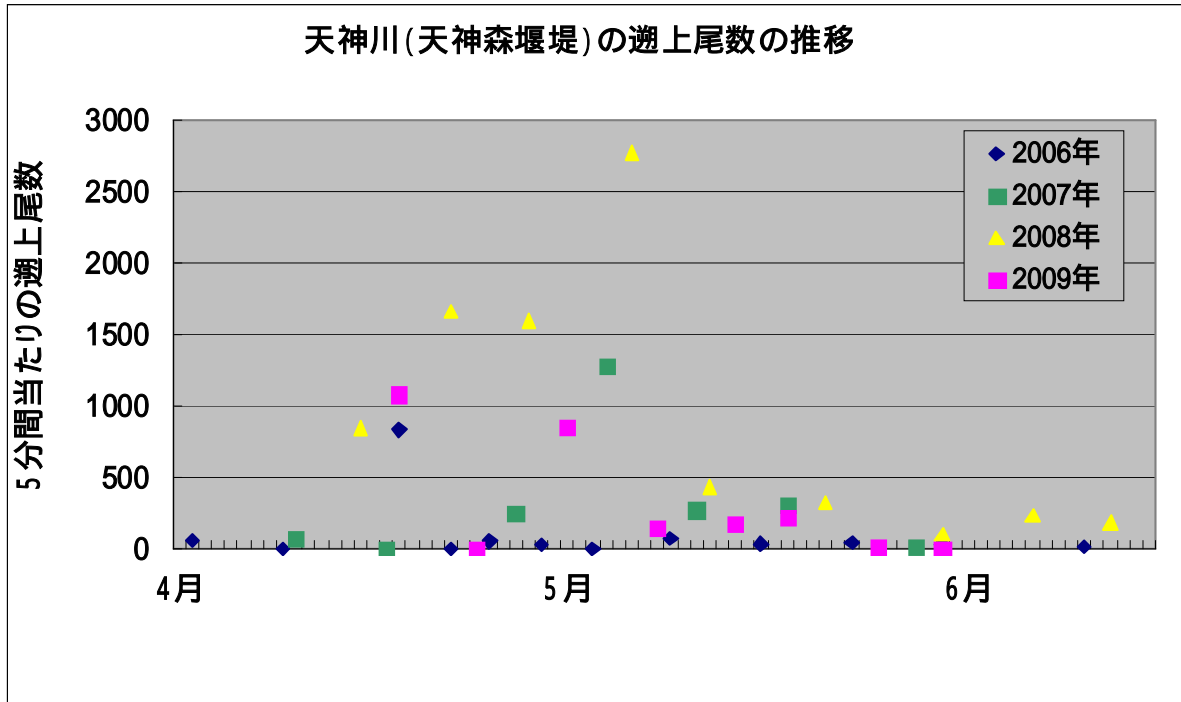


図1 アユ遡上調査の比較

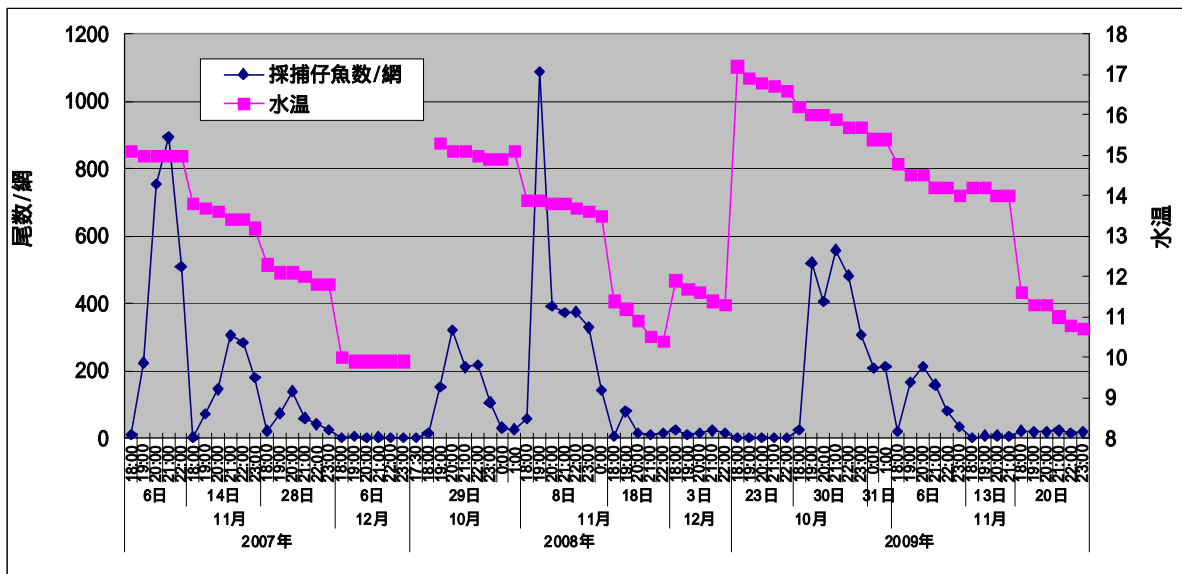


図2 流下仔魚調査結果の比較

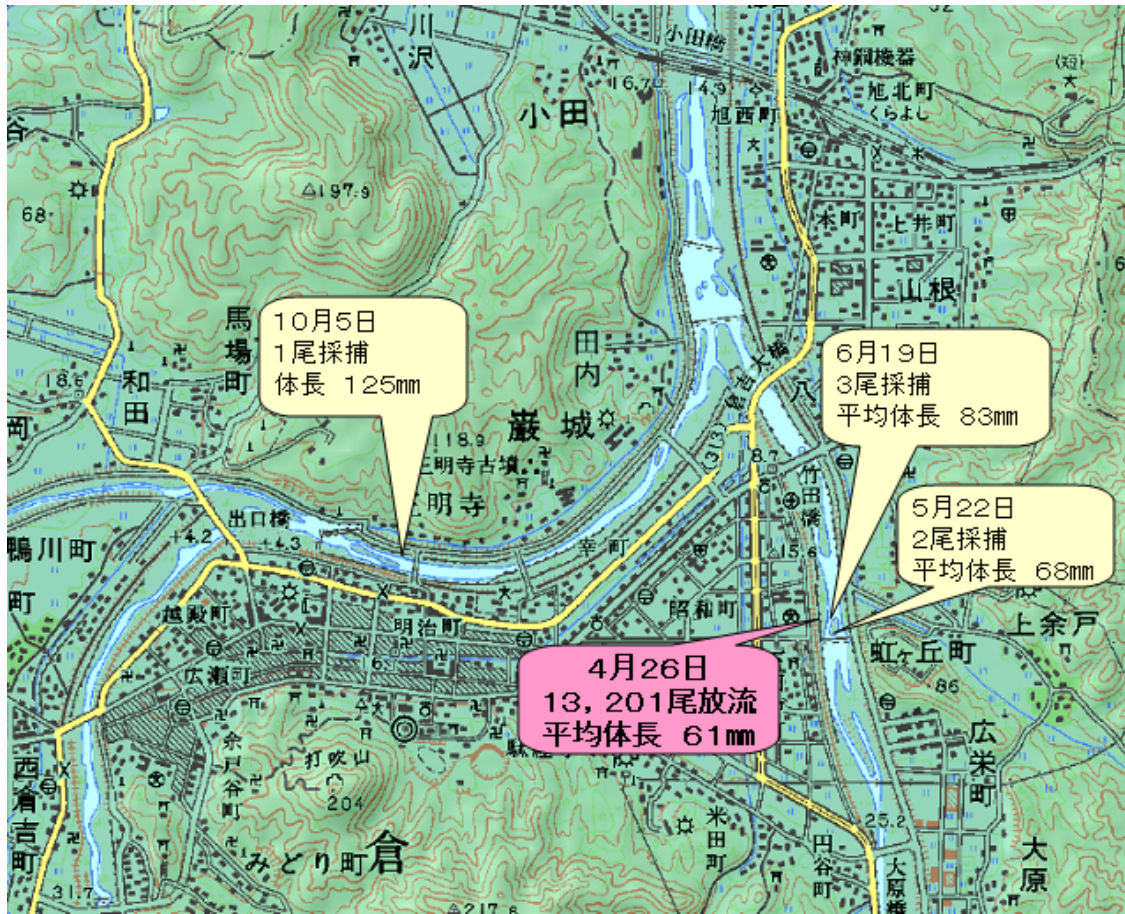


図3 標識放流位置および採捕位置

